

- 6 図1は火成岩体の形、図2は2つの火成岩を顕微鏡で見たときの模式図である。次の問いに答えよ。

図1

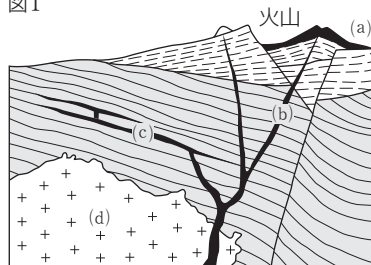


図2-A

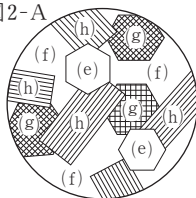
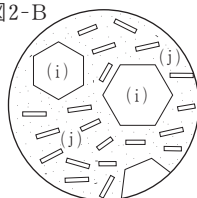


図2-B



- (1) 図1中の(a)~(d)の岩体をそれぞれ何というか。次の①~④から選べ。
① 岩脈 ② 岩床 ③ 溶岩 ④ 底盤
- (2) 図1の(a)で形成される岩石は、一般に図2-A、2-Bどちらの組織を示すか。
- (3) 図2-Aの(e)は、形の整った結晶面で囲まれた鉱物である。一方、(f)は不規則な形をした鉱物である。それぞれの状態を一般に何というか。
- (4) 図2-Aの鉱物(e)~(h)を、早期に晶出したものから順に並べよ。
- (5) 図2-Bの(i)のような粗粒な結晶を何というか。また(j)のような細かい結晶やガラス質の部分を何というか。

- 7 表は、火成岩を分類したものである。次の問いに答えよ。

- (1) 表中の①~⑩に適語を入れよ。

	塩基性岩	中性岩	酸性岩	組織
火山岩	(①)	(②)	流紋岩	(③)
(④)	斑れい岩	閃緑岩	(⑤)	(⑥)
造岩鉱物	(⑦)			無色鉱物
	(⑧)			
	(⑨)	斜長石	(⑩)	
	かんらん石	角閃石	(⑩)	
	(⑩)			有色鉱物

- (2) 火山岩の中で、もともになったマグマの粘性が最も大きなものは何か。岩石名を答えよ。また、このマグマがつくる火山の代表的な形を何というか。
- (3) 表中に出てくる火成岩のうち、日本列島のような島弧地域の火山に多く見られる岩石はどれか。岩石名を答えよ。